



© Mascia Sergievskaja

### エフゲニー・キーシン(ピアノ) Evgeny Kissin, Piano

キーシンが3年ぶりに日本にやって来る。前回2021年の来日での成熟した名演は、彼が今や真の巨匠の域に達していると感じさせるものだった。もう40年近く彼を聴き続け、特に15歳の初来日時初々しい演奏がまだ忘れられない筆者にとって、神童キーシンから巨匠キーシンへの成熟と変貌は感慨深いものがある。

今の彼の音楽の特徴として、確固とした構築性とスケールの大きさ、その中での表現の徹底した彫琢が挙げられよう。神童時代の無垢な自然発露的演奏とは対極にあるともいえるが、外面的効果や曲を面白く作り上げることを一切排し、ひたすら作品の本質に迫ろうとする真摯な姿勢は、少年時から今日まで一貫している。ただかつては天性で作品の美質を感じ取って表現していたのに対し、年齢を重ねるにつれて知的かつ思索的に作品の本質を掘り下げるようになったといえるだろう。その過程で試行錯誤や迷いを窺わせた時期があったのも事実だ。しかしそうした壁にぶつかっても、決して効果を狙うような演奏に転じることなく、彼本来の姿勢を貫いてきたところに今のキーシンの成熟がある。

徒にレパートリーを広げず、ひとつひとつの作品の表現をとことん練り上げることを重んじるころにも、音楽に対する彼の取り組み方が現れている。演奏会のプログラムをひとつ決めたら一定期間そのプロだけに集中するのが彼のやり方だ。今回のプロも2月の欧州各国での演奏を皮切りに、5月には北米各地、6月以降は再び欧州各地で繰り返し演奏した後、日本に持ってくるという。それほど徹底ぶりがキーシンの身上であり、彼の演奏に強靱な意思と峻厳さを感じられるのはそれゆえだろう。

その今回のプロは暗い色調の内省的な作品を中心とし、最後はプロコフィエフの激しいソナタで締めくくられる。混乱の今の世にあってキーシンはこれらの曲にどんな思いを託しているのか。それは何より演奏そのものが語ってくれよう。彼の奏でる音楽にじっくり耳を傾けたい。

寺西基之 (音楽評論家)

キーシンは、その音楽性、深く詩的な解釈、類稀な演奏技術により、当代の、そしておそらく歴代のピアニストの中でも、とりわけ才能に恵まれた者のみに相応しい尊敬と称賛を得てきた。彼は世界中で人気を博しており、これまでに、アバド、アシュケナーズ、バレンボイム、ドホナーニ、ジュリーニ、レヴァイン、マゼール、ムーティ、小澤征爾といった世界的指揮者やオーケストラと共演している。

1971年10月モスクワ生まれ。2歳の頃、耳で聴いた音楽の演奏や即興的な演奏を始めた。6歳でモスクワのグネーシン音楽学校に入り、現在に至るまで彼の唯一の教師であるアンナ・パヴロヴナ・カントールに師事。10歳で協奏曲デビューを果たし、その1年後には初のソロ・リサイタルをモスクワで行った。1984年3月、12歳のときに、キタエンコ指揮/モスクワ・フィルと共に、モスクワ音楽院大ホールでショパンの2曲のピアノ協奏曲を演奏し、世界的に注目されるようになった。

彼が国外に初めて登場したのは1985年の東ヨーロッパであり、翌年には初の日本ツアーを行った。1988年12月には、カラヤン指揮/ベルリン・フィルのジルベスター・コンサートで演奏し、1990年ロンドンのBBCプロムスに初出演。同年、北アメリカでもデビューし、メータ指揮/ニューヨーク・フィルとの共演や、カーネギー・ホールの百周年シーズンの開幕を飾る見事なデビュー・リサイタルを行った。

また彼は、世界中から音楽賞や記念賞を与えられている。1986年の最高の演奏として(これが日本での最初の演奏だった)大阪、ザ・シンフォニーホールでのクリスタル賞、1991年にはシエナのギジアーナ音楽アカデミーから年間最優秀音楽賞を受賞。1995年には「ミュージカル・アメリカ」の器楽賞を最年少で受賞した。1997年、ロシア文化への傑出した貢献に対して、名誉ある凱旋賞(Triumph Award)が与えられた。これは、ロシアで与えられる最高の文化的栄誉のひとつであり、ここでも彼は史上最年少の受賞者となった。その他にも、マンハッタン音楽大学から名誉音楽博士号、ロシアの音楽界における最高の栄誉の一つであるショスタコーヴィチ賞、英国王立音楽院の名誉会員資格、そして直近では、香港大学から名誉博士号(人文科学系)を授与されている。

キーシンの録音は無数の賞を受賞しており、世界最高の演奏家が録音した名曲集に大きく貢献している。2002年にエコー・クラシック賞(年間最優秀ソリスト賞)、2006年と2010年にはグラミー賞(最優秀器楽ソリスト賞)、その他にもオランダのエディソン・クラシック賞、フランスのディアパゾン・ドール賞、ヌーヴェル・アカデミー・デュ・ディスク賞グランプリなどを受賞している。

#### エフゲニー・キーシン ピアノ・リサイタル 2024年日本公演スケジュール

- 11/24(日) ザ・シンフォニーホール  
(問) ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000
- 11/28(木) 愛知県芸術劇場コンサートホール  
(問) CBCテレビ事業部 052-241-8118
- 12/7(土) 北九州ソレイユホール  
(問) 響ホール音楽事業課チケット専用 093-663-6567

X(旧Twitter)でフォローする  
@japan\_arts

#### <特別割引チケット> (ジャパン・アーツびあホールセンター及びジャパン・アーツびあオンライン チケットで受付、横浜公演は神奈川芸術協会でも受付)

- 学生席(各ランクの半額/座席の選択が可能です) 残席がある場合に限り、10/31(木) 10:00より受付を開始いたします。  
※社会人学生を除く公演当日25歳までの学生が対象です。当日は学生証をご提示の上、ご入場下さい。(学生証がない場合、一般価格との差額を頂きます。)
- シニアチケット=公演当日65歳以上の方はSS席(東京公演)を23,000円、S席を20,000円、A席を17,000円(税込)でお求めいただけます。
- 車椅子の方は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。(東京公演はジャパン・アーツびあホールセンター、横浜公演は神奈川芸術協会でも受付)

#### 次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求め下さいませ。

- ①やむを得ない事情により、曲目・曲順等が変更になる場合がございます。
- ②公演中止の場合を除き、お求め頂きましたチケットのキャンセル・変更等はできません。③いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。
- ④演奏中は入場できません。
- ⑤未就学児の同伴はご遠慮下さい。なお就学児以上の方もご入場には1人1枚チケットが必要で、⑥全指定席です。券面に記載された指定の座席にてご鑑賞下さい。
- ⑦場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話・電子機器等の使用は、固くお断りいたします。
- ⑧ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。
- ⑨他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。

## 2021年ザルツブルク音楽祭 リサイタルのライヴ録音!

### ザルツブルク・リサイタル

エフゲニー・キーシン  
EVGENY KISSIN

発売中



- 【収録曲(一部)】  
ショパン作曲:  
①夜想曲 作品62 第1番 口長調 (第17番)  
②即興曲 第1番 変イ長調 作品29  
③即興曲 第2番 嬰へ長調 作品36  
④即興曲 第3番 変ト長調 作品51  
⑤スケルツォ 第1番 口短調 作品20  
⑥ポロネーズ 変イ長調 作品53 《英雄》 他

エフゲニー・キーシン (ピアノ)  
録音: 2021年8月 ザルツブルク、  
祝祭大劇場(ライヴ・レコーディング)

制作: ユニバーサル クラシック&ジャズ  
発売・販売元: ユニバーサル ミュージック合同会社

[MQA/UHQ-CD 2枚組] UCCG-45055/6 ¥3,850 (税込)

視聴・購入はこちら →

